

ステンレス 304(A2)

強度保証

六角ボルト



全ねじ六角ボルト

呼び径六角ボルト

形状・寸法 JIS B 1180 本体

機械的性質 JIS B 1054-1 に基づき製作

材料は日鉄ステンレス(株)と大同特殊鋼(株)の「JIS G 4308 ステンレス鋼線材」を使用しています。

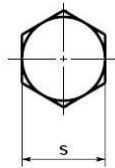
在庫サイズ

	M6	M8	M10	M12	M16	M20							
径	10	13	16	18	24	30	径						
高さ	4.0	5.3	6.4	7.5	10.0	12.5	高さ						
ピッチ	1.0	1.25	1.5	1.75	2.0	2.5	ピッチ						
ネジ部長さ	18	22	26	30	38	46	ネジ部長さ						
○印は在庫を示したものです。													
全・半 区分	M6		M8		M10		M12		M16		M20		全・半 区分
L寸	全	半	全	半	全	半	全	半	全	半	全	半	L寸
8	○												8
12			○										12
16	○		○										16
18			○										18
20	○		○		○								20
25	○		○		○		○						25
30	○		○		○		○						30
35	○		○		○		○		○				35
40			○	○		○		○	○		○		40
45			○	○		○		○	○		○		45
50			○	○		○		○		○	○		50
55				○		○		○		○			55
60				○		○		○		○			60
65				○		○		○		○			65
70				○		○		○		○			70
75				○		○		○		○			75
80				○		○		○		○		○	80
85				○		○		○		○			85
90				○		○		○		○		○	90
95								○		○			95
100				○		○		○		○		○	100
105								○		○			105
110								○		○		○	110
115										○			115
120								○		○			120

六角ボルトの規格「JIS B 1180」には「本体」と「附属書」の2種類に分かれています。

現在、一般流通していますステンレス鋼六角ボルトは「JIS B 1180附属書」に準じて製作されていますが、「JIS B 1180附属書」の規格がJIS改定に伴い、~~2014年12月に廃止が決定~~されました。「附属書」の廃止後、「本体」に一本化されず。当社はステンレス鋼専門のボルトメーカーとして、先駆けて「本体」規格の六角ボルトの製造・在庫しております。

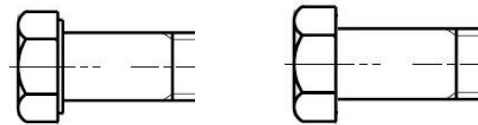
1. 形状・寸法が若干異なります。



例えばS部寸法は以下のようになります

呼び径	S部の寸法(mm)	
	本体	附属書
M10	16	17
M12	18	19
M14	21	22
M22	34	32

2. 六角部の首裏に座が付きます



本体: 座付き

附属書: 座なし

一般流通しています「附属書」規格のステンレス鋼六角ボルトの首裏には座がありません。ステンレス鋼「本体」規格の六角ボルトは座が付きます。

3. 製造業者識別の表示・鋼種区分・強度区分の刻印が付きます。



本体

附属書

上図は当社製の本体規格品と附属書規格品です。

HSK: 当社識別記号

A2: 鋼種区分(オーステナイト系)

70: 強度区分(700N/mm²以上)

4. 「本体」規格は強度保証されます。

一般流通しています「附属書」規格のステンレス鋼六角ボルトの強度は保証されていませんが、「本体」規格のステンレス鋼六角ボルトの機械的性質はJIS B 1054-1「耐食ステンレス鋼製締結用部品の機械的性質—第1部 ボルト、ねじ及び植込みボルト」に基づいて、強度保証されます。例えば、M24以下のサイズの引張強さは700N/mm²以上です。

■ ボルトの機械的性質 (M24以下)

材料の組織区分	鋼種区分	強度区分	引張強さ N/mm ²	永久伸び0.2% 耐力N/mm ²	破断後の 伸びmm
			最小	最小	最小
オーステナイト系	A2及びA4	70	700	450	0.4d

詳しくは  (URL [HTTP://WWW.FIJ.OR.JP/PDF/JISGUIDE.PDF](http://www.fij.or.jp/pdf/jisguide.pdf)) をご参考にしてください。